



進修館だより 交流マップ

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様をマップに掲載していく形でご紹介します！



■ ドイツパンのお店 アムフルス

日本に数名しかいない、ドイツ国家認定“製パンマイスター”が作る本格ドイツパンの店。ほかにも、食パン・菓子パン・総菜パンなどラインナップは豊富！ドイツパン好きはもちろん、地域の皆様にも愛されているお店です。

- 町外の皆様
- ・(株)彩和とらすとサービス(白岡市小久喜)
 - ・杉戸町障がい者支援センター(杉戸町清地)
 - ・日の出(幸手市中)
 - ・(株)あおば保険事務所(春日部市中央)
 - ・白田陽介税理士事務所(久喜市久喜東)
 - ・CAFE パロキア(久喜市菅沼町)
 - ・入間市文化創造アトリエ AMIGO!(入間市仏子)
 - ・象設計集団 東京事務所(東京都狛江市)

- 配布などでご協力いただいている方々
- ・ふれあいクラブ(宮代町宮代台)

■ 進修館だよりで交流させていただいている自治会をご紹介します！(50音順)

- | | | | | |
|----------|---------|-------------|------------|----------|
| ・内野 | ・新道三区町会 | ・中須地区 | ・宮代1丁目第2町会 | ・和戸2丁目2区 |
| ・笠原2丁目町会 | ・新道第一町会 | ・中寺地区自治会 | ・宮代学園台自治会 | ・和戸3丁目 |
| ・川端一区自治会 | ・新道第2町会 | ・東桑原自治会第1地区 | ・宮代台自治会 | ・和戸4丁目1区 |
| ・川端二区自治会 | ・辰新田町内会 | ・東桑原自治会第2地区 | ・山崎 | ・和戸4丁目2区 |
| ・川端三区自治会 | ・中央第1町会 | ・姫川二区自治会 | ・柚の木二区自治会 | ・和戸5丁目地区 |
| ・逆井地区 | ・中央第2町会 | ・藤曽根地区 | ・和戸1丁目町内会 | |
| ・新中町会 | ・道佛1区 | ・宮代1丁目1町会 | ・和戸2丁目1 | |



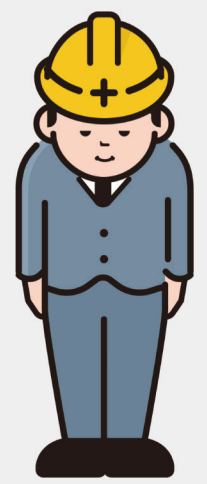
Community Center Shinsyukan

進修館だより



施設改修に伴う利用制限のお知らせ

進修館では、みなさまが快適に施設を利用いただけるよう、設備の改修を実施します。工事期間中は一部施設がご利用いただけませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。



- 小ホール フロア照明LED化工事
工事期間：7月25日(月)～8月7日(日)
 - 大ホール・ロビー 空調機改修工事
工事期間：9月4日(日)～2023年1月31日(火)終了予定
※ 工事資材の搬入経路確保などのため、回廊に通行制限エリアを設けることがあります。
- ※ いずれの工事においても、作業時に音等が発生する場合がございます。施設利用に支障がある場合には、受付までご相談ください。

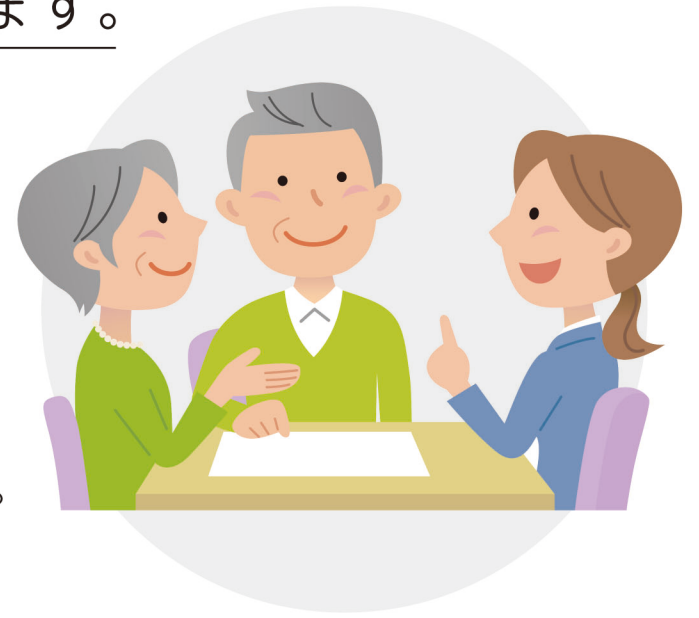
市民活動相談日を設けています。

みんなの広場に併設している「進修館市民活動サポートセンター」では、市民活動に関わる相談日を設けています。

相談日：水・土曜日 14時～16時

相談に際しては予約が必要です。詳しくは、市民活動サポートセンター担当まで。

? ☎ 0480-33-3846
✉ koryu@shinsyukan.or.jp



進修館だより 2022年8月号(第17号) 第2版：2022/07/28 発行
発行元：宮代町立 コミュニティセンター進修館
(指定管理者：特定非営利活動法人 MCAサポートセンター)
住所：〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL：0480-33-3846
URL：https://www.shinsyukan.or.jp E-mail：info@shinsyukan.or.jp

第39回 宮代町民まつりが開催されます！

夏の風物詩、町民まつりが3年ぶりにかえってきます。

コロナ対策のため規模を大幅に縮小しますが、いつもの宮代の夏を少しでもお楽しみください。

会場には、小学生が作った提灯も展示します。



日時：8月21日（日）17時～20時（開場16時）

場所：宮代町役場前 スキップ広場・コミュニティ広場

内容：[ステージ]

- ・みやしろ戦隊ハナレンジャーと記念撮影！！
- ・第9回 宮代ダンスフェスタ ・ソーラン節、よさこい、宮代音頭

[イベント]

- ・みこしの展示 ・水鉄砲でも打ち水 ・日工大出張発電所
- ・モルックで遊ぼう ・昭和の屋台

※会場はフェンスで囲み、出入口を設置します。

入口での検温にご協力ください。

※熱中症予防の水分補給を除き、会場内は飲食禁止です。

（飲食等を提供する屋台の出店はありませぬ。）

[小学生対象 ソーラン節の講習会]

申込不要です。直接会場へお越しください。

日時：8月7日（日）13時～14時

場所：進修館 ロビー

問合せ：宮代町町民生活課地域振興担当 0480-33-1111（当日はコミュニティセンター進修館 0480-33-3846 まで）

進修館アーカイブ

進修館では、当館にまつわる様々なデータをデジタル化して保存しています。このコーナーでは、その一部を紹介します。

1982年9月に発行された「広報みやしろ」に、進修館の芝生広場で開催された「夏休み映画大会」の様子が書かれた記事がありました。この記事の写真をしてみると、観客の皆さんは全員、進修館を背にして



涼風が頬をなでる夜
寅さん健さんに感動

広報みやしろ
8月7・8日の両日、進修館において夏休み映画大会が催されました。
初日は、時間前に降り出した雨のため、大ホールでの上映となったが、それでも200名の観客で、階段席はいっぱいとなった。
2日目は、空もようやくに晴しながらも、当初予定していた芝生広場での上映となり、広場は終映時間の9時30分近くまで、たくさんの方々が家族づれでにぎわい、楽しい夜のひとときをすごしました。

いますね。当時の芝生広場は今のような円形の広場ではなく、敷地の半分に宮代町役場が建っていました。では、スクリーンの方はどうなっていたのでしょうか…

スクリーンの設置状況がわかる資料がなく、当時を知らない記者としては、町役場の壁などにスクリーンを設置したのだろうか…と推測するばかりです。当時の写真や情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ進修館まで、ご連絡ください！

皆様からの声をお届け！

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様の声をお届けするコーナーです。

川端4丁目の交差点からすぐのところにある、ドイツパンのお店「アムフルス」。ドイツ国家認定“製パンマイスター”のオーナーシェフを支え、お店を切り盛りしている山本有里さんにお話を伺ってきました。

質問1 「山本さんから見た進修館の印象は？」

- ・全体的に暗いイメージで、初見だと近寄りづらい。
- ・決まった人しか行かないイメージがある。
- ・館内の構造（どこに何の部屋があるのか）が、わかりにくい。
- ・進修館がどういう目的で建てられたのか、どういう歴史があるのか、そういう部分がわかりにくいので、町外の人に説明できない。建物としては素晴らしいと思うだけに、とてももったいなく感じる。
- ・子どものピアノ発表会やコンサート、キャンドルナイトなどで訪問したときは、建物の雰囲気もマッチして良い印象を受けた。



山本さんは生まれも育ちも静岡県。オーナーであるご主人との結婚を機に宮代町に移住されたそうです。

質問2 「今後の進修館に、どのようなことを期待しますか？」

- ・これまで進修館を利用していないような人たちを呼び込めるような、インパクトのあるイベントがあればいいと思う。
- ・「進修館といえばコレ！」というような、印象的な固定イベントがあると、町外の人にも印象付けられるのでは。
- ・夏祭りとかクリスマスの時期とか、季節ごとのイベントなどがあれば、雰囲気のある建物なのでいいかも。
- ・自分を含め「進修館とはなんなのか？」ということも、ちゃんと理解している町民は少ないと思う。「進修館は知っているけど、進修館が何なのかよく知らないから、他の人に説明できない。」という人も多いのでは。もっと進修館のことを知ってもらえるように歴史などをわかりやすく公開したらいいと思う。
- ・宮代町では各所でいろいろなイベントが開催され、それぞれに人が集まっていて良いと思う。進修館がその中心的な役割を担い、宮代町のシンボルとして、人々が集まる場所になればいいと思う。



アムフルスのパンには石臼で丁寧に挽かれた粉が使われています。石臼による自家製粉には相当な技術が必要で、日本のパン屋で導入しているところはおく僅かです。ちなみにこの石臼は、日本に2台しかないそうです。

静岡県から嫁いでこられた山本さん。初めの頃は知り合いもおらず、両親も遠くにいるということで、少し不安もあったそうです。でも、地域の方々やお客さんたちがとても良くしてくださり、早々に不安はなくなったそうです。特に子どもが生まれてからは、地域の方やお客さんが親代わりのように接して下さったそうで、「皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。」と仰っていました。

今回のインタビューでは「現在宮代町にお住まいの方」目線のお話に加え「遠方から宮代町に嫁いで来られた方」目線のお話もお伺いできたので、とても勉強になりました。山本さんが「静岡にいる両親に、宮代町のことを説明するとき、進修館の名前は…挙がらないかな。」という話された時、「そうかも…」と思いました。進修館のことをきちんと知らないと言いつつ「変わった建物」以外に言いようがありませんから。宮代町といえば進修館！と胸を張って言ってもらえるよう、もっと皆さんに知っていただく努力が必要、と強く感じました。